

案件照会システムの構築でワークフローデータの活用を推進 データの検索性向上で業務効率化を実現

株式会社ジャムコ



航空機の内装品の製造などを手掛ける株式会社ジャムコ(以下、ジャムコ)は、ドキュメント管理ソリューション「SPA」を新たに導入し、社内のワークフローデータを可視化する「案件照会システム」を構築。社員が自由に過去案件を検索できるようになり、社内の知見を共有する体制が整った。あわせて、情報システム部の業務も効率化した。

写真右より:情報システム部 次長 情報企画グループ長 佐藤 和人 氏、業務システムグループ 担当課長 安田 和弘 氏、情報企画グループ 担当課長 中田 雅彦 氏

Summary

概 要



背景・課題

- 過去のワークフローデータを社員が自由に閲覧できず、知見の共有が制限されていた
- 情報システム担当者が、求めに応じて過去案件を照会する業務が発生していた



導入のポイント

- データ連携処理を行うDataSpiderにSPA・Dr.Sumを連携し、ワークフローデータを格納
- ワークフローデータはSVFによってPDF化し、見読性を担保
- ユーザー側のインターフェースにはMotionBoardを活用し、Dr.Sum・SPAをデータソースとし誰もが検索可能に



効果

- 文書の原本から明細データまで、社員は必要な形で案件を検索できるようになった
- 年に2回あるJ-SOXの外部監査に際する照会業務が、大幅に省力化
- 業務改善に関する各社員の提案書も、部門をまたいで共有可能に

SPA

PDF等の電子ファイルや、紙をスキャンして電子化したファイルをシームレスに保管し活用できるドキュメント管理ソリューション。



SPA

CASE STUDY

ワークフローのデータを整備し、社内DXの基盤に

世界の航空機の部品、中でも内装品分野において高い市場シェアを誇る株式会社ジャムコ。同社が「案件照会システム」を構築した背景にあったのが、社内のDXプロジェクト「Jリード」の存在だ。業務プロセスを刷新し、e-文書法など新たな法的要件へ対応するために、ワークフローのデータ整備が不可欠となっていた。

同社が着目したのは、申請と承認のフローを管理するイントラマートのワークフローシステム。自分自身が携わった最近のデータしか検索できない（検索性の課題）、バージョンアップの際に過去のデータを移行しないと内容が読めなくなってしまう（見読性の課題）、大量のデータが蓄積されるとパフォーマンス低下やコスト増大を招く（容量の課題）、といった諸問題を抱えていた。

これらへの打ち手として導かれたのが「ワークフローデータのPDF化」だ。ワークフローデータを



PDF化して「SPA」に格納することで、検索性や見読性、容量の課題を一挙に解決した。

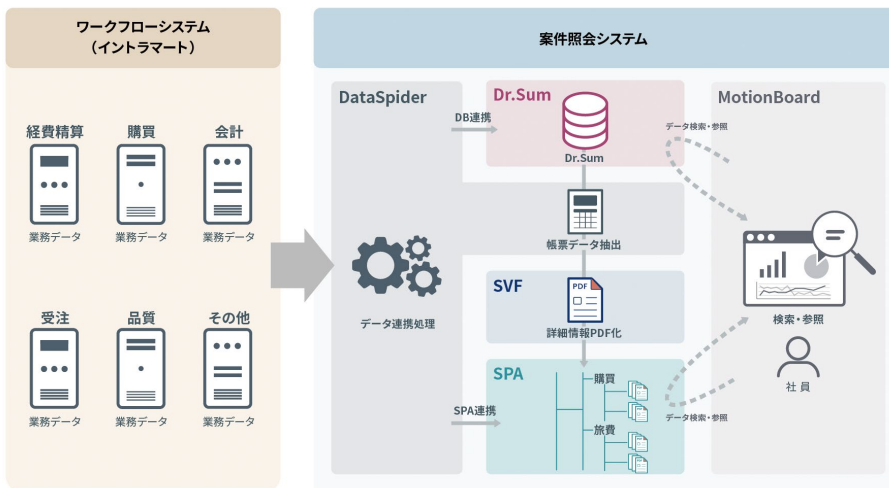
SVFとSPAを連携し、ワークフローの見読性を担保

今回の「案件照会システム」で重要な役割を担うのが、同社が以前より導入していたウイングアークの帳票基盤ソリューション「SVF」だ。従来、画面をキャプチャーしたとしても、スクロールバーが設けられるほど長文が記されている入力欄の中身までは読むことができない。しかし、SVFを利用すれ

ば、それら全データの見読性を担保した形でPDF化することができるという。

Dr.Sumによってワークフロー内のデータの集計・分析を行い、SVFによってワークフローや帳票そのものをPDF化。それをSPAに格納し、ユーザー（社員）側はMotionBoard上のダッシュボードを通じて自由に、手軽に検索を行えるようになった。これらの成果として、社内知見の共有と業務効率化が加速したことに加え、監査業務の省力化ももたらされたという。同社は今後の見通しとして、電子帳簿保存法への対応も視野に入れている。

ウイングアークのDr.Sum、SVF、SPA、MotionBoardを組み合わせることで、社内DXの基盤となる「案件照会システム」を構築



株式会社ジャムコ

設立 : 1955年
本社所在地 : 東京都立川市
URL : <https://www.jamco.co.jp/ja/>

航空機内装品製造事業、航空機器製造事業、航空機整備事業、航空機シート製造事業の4つの事業を展開

サイト内でより詳しくご紹介しております。

<https://www.wingarc.com/product/usecase/308.html>

